重点分野・テーマ別に集中実施する販売促進の強化等緊急対策事業
【 タイ国バンコク出張 分野・テーマ別販売促進活動 報告】

日程 9月24日 ～ 29日 5泊6日

	会社名	役職	氏名
出張者	GLO-berryJapan㈱	代表取締役	伊東良久
		海外担当	Labanalabhananda Donchanok
	㈱フルーツむらはた	代表取締役	村端 一男

（出張目的）

①タイ/バンコク 日本生鮮市場(トンロー市場)にて 販売促進実施
※レギュレーション変更後、青果物タイ国への輸出実態調査兼ねる
②現地旅行会社へ果実携行輸出に向けて働きがけ

（輸出果実・数量）

GLO	ぶどう 各種	60房	長野（秀果園）・岩手

（日程）

日程	場所	内容	
9/24 (火)	空港へ移動	Labana 須坂⇒長野⇒上野⇒成田	村端 小松⇒羽田
		伊東 池袋⇒上野⇒成田	
	東京⇒BKK	NH807 成田17:00 ⇒ BKK 21：40	JL33 羽田00:40
25日(水)	バンコク	CTIFS リンゴ打合せ/NS Travel 携行輸	⇒ 05:00BKK ,事前打ち合わせ
26日(木)	バンコク	トンロー市場	
27日(金)	バンコク	トンロー市場	
28日(土)	バンコク	トンロー市場	
29日(日)	バンコク⇒東京	NH848 BKK09:35 ⇒ 羽田17:55	※9/28 BKK21:55⇒ 羽田06:05
		Labana 羽田⇒東京⇒長野⇒須坂	羽田07:45⇒小松08:45

商談件数	商談相手属性	今後継続	契約件数	目標金額（千円）
3	卸 及び 他	有	1	8,500

レギュレーション変更に伴い、輸出元が制限され物量的に厳しくなったとともに、タイ国でも価格重視の傾向が見られ始めた。大手量販の低価格路線に引っ張られている。

1） 輸出実現の件

今回シッパーである ㈱JALUX ASIA様もレギュレーション変更後初青果物輸入一度 一週間前に1箱のみ試験輸入実施し今回の運びとなる。
日本国内 植物防疫所への提出書類が増えかなり煩雑とはなるものの、タイ国への輸出が今後スムーズに運んでいけることとなる。

2） CTIFS

9月当初 FHTにて葡萄輸入を図るもタイ政府より書類不備を指摘され(タイ通関職員の不勉強による)日本からの輸出が出来なかった。
今回他インポーターであるが、果実輸入可能である旨報告し、りんごに繋げていく。（FOB見積もり提出）

3) NS Travel

タイ国内大手旅行会社 日本との繋がりも強い。
昨今タイ旅行社も個人旅行者が増え、旅行代理店を通すことが減少。
代理店ならではのメリットとして、レギュレーションが変わったからこそ果実携行の許可を政府に働きかけれないか、又、小口貨物輸出(航空会社との連携) など実現性の可能性を提案。

4) トンロー市場にて販売促進活動

開店時間 09:00 ～ 18:00
メンバー制(業者)であるが、一般客も午後から購入可能。
日本から仕入 金曜日朝入荷
3日間で 約40房。残りは継続して販売していただく。
※ 帰国後継続注文あり